

男のロマン

礼 恭司

男のロマン どこにある
情熱を秘めた 胸にある
がむしゃらだった いったって
走りつづけて 幾十年
ふり向きや人生 風の中
ふり向きや人生 雨の中

時には苦い 酒をのみ
時にはっらい 恋もした
燃やした血潮は 熱かった
昭和ふたけた どこまでも
おくれた春なら 遅咲きの
まだまだ咲かせる 花がある

転んで起きて . . .